

「アジア健康長寿イノベーション賞」公募について Q&A

2021年1月21日作成
(公財) 日本国際交流センター

Q どのような組織が応募可能ですか。

日本国内に活動拠点のある団体（社会福祉法人、医療法人、公益法人、老人クラブや婦人会など）、学術研究機関、地方自治体、民間企業、官民連携機関、社会的企業などが応募可能です。法人格の有無は問いません。官公庁並びに国際機関の取り組みは応募できませんが、それらによる補助金や助成金を受けている事業は応募可能です。

Q 日本以外での取り組みはどこの国・地域が応募可能ですか。

募集対象国・地域はブルネイ、カンボジア、中国（香港、マカオ、台湾を含む）、インドネシア、日本、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、韓国、タイ、ベトナムです。海外での取り組み（活動拠点が日本以外）を応募する場合は、別の募集プロセスとなりますのでこちら (<https://www.ahwin.org/award/>) からご応募ください。

Q 昨年応募しましたが、大賞には選ばれませんでした。本年、再度応募することはできますか。

可能です。大賞に選ばれなかった場合、再度応募することができます（準大賞の団体も再度応募可能）。ただし、応募用紙に一部変更がありますので、本年の応募用紙を、期限までに提出いただく必要があります。

Q 取り組みは複数の組織が共同で運営しています。複数組織での応募は可能ですか。

可能です。応募用紙の応募組織欄に、組織名を全て列挙してください。ただし、事務局とやり取りをする団体は1団体に決めていただき、担当者情報を明確にしてご応募ください。大賞に選ばれた場合、代表して1団体にトロフィーを授与します。賞状は、全団体に授与します。

Q 複数の取り組みを応募出来ますか。

出来ません。一つの組織につき応募は1事例のみでお願いします。ただし、一つの団体において、複数の部署やプロジェクトチームなどがそれぞれ事例を

有している場合、各部署・プロジェクトチームを一組織としてご応募いただけます。その場合、部署名もしくはチーム名を明記の上、ご応募ください。

例1：応募可能な例（同一会社の異なる部署が応募）

xxx 株式会社 コミュニティ事業部が応募

xxx 株式会社 テクノロジー&イノベーション事業部が応募

例2）応募可能な例（同一会社の異なる部署が日本事例と海外事例を応募）

xxx 法人 日本事業部が日本国内の事例で応募

xxx 法人 海外事業部が海外の事例で応募

Q 親会社/組織が開発・発案した取り組みを、私たちが地域で導入しています。私たちが応募することは可能ですか。

出来ません。ご自分たちで発案・開発した取り組みに限り応募することができます。親会社/組織等の異なる組織の取り組みで応募を希望する場合は、その会社・組織から直接応募いただくようお願いいたします。ただし、他の会社/組織が作り出した取り組みを大幅に改良し、独自のものと判断される場合は、応募することができます。

Q オンライン申請書記入による応募と応募申請書をメールで送付による応募では、何か違いはありますか。

ありません。いずれかの方法でご応募ください。

Q 大賞、準大賞の受賞事例はどのように選出されますか。

アジア各国の高齢化問題の専門家で構成される国際諮問委員会により選出されます。前述の選考基準に基づいて厳正な審査をし、事業の種類、地域や団体種別などのバランスも考慮して賞を決定します。

Q 応募に費用はかかりますか。

かかりません。応募は無料です。

以上